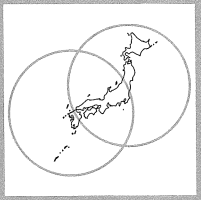
本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



CASIO®

P

電波時計

2709＊JA

取扱説明書

2709

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

◆本機の特長

● 正確な時刻を表示（電波時計）

標準時刻をのせた長波標準電波を受信して、正確な時刻を表示します。

● アナログ＆デジタル時計

ガラスにデジタル表示が浮き上がります。
デジタル表示を消して、アナログ時計としても使えます。

● EL バックライト

暗いところでもボタン１つで表示を明るく照らします。

● ワールドタイム

世界 30 都市（29 タイムゾーン）の時刻がわかります。

● アラーム（５本）・時報報知

アラームは５本（通常アラーム４本／スヌーズアラーム１本）セットでき、設定した時刻になると知らせてくれます。
また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。

● データメモリー

メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

● ストップウオッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）



⃠ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）



● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



データ控えを作ってください

記憶させた内容は、備忘録やノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。
本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。



⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

安全上のご注意 表紙裏面

ライト点灯について 5

操作のしくみと表示の見方 6

電波時計について 8
- 電波時計とは …… 8
- 標準電波 …… 8
- 電波の受信範囲の目安 …… 9
- 使用場所について …… 10
- 受信方法について …… 10
- 自動受信のON／OFF設定 …… 12
- 受信電波を選ぶ …… 13
- 受信に関するご注意 …… 14
- こんなときには …… 14

ワールドタイムの使い方 16
- 都市のサーチ …… 16
- サマータイム（DST）について … 17
- サマータイムのON／OFF設定 … 17
- 都市コード一覧 …… 17

アラーム・時報の使い方 18
- アラームの使い方 …… 18
- 時報の使い方 …… 22

データメモリー機能の使い方 23
- データを見る …… 23
- データを入力する …… 24
- データの修正／消去 …… 25

ストップウオッチの使い方 26
- 計測のしかた …… 26

ホームタイムデータ
(時刻・カレンダー)の合わせ方 27
- セットのしかた …… 27
- アナログ部（針）の修正 …… 30

製品仕様 …… 32
ご使用上の注意 …… 33
お手入れについて …… 35
電池交換について …… 35

ライト点灯について

どのモードのときでも、Ⓛボタンを押すと約1.5秒間文字板が発光します。

➡暗いところでも表示を見ることができます。



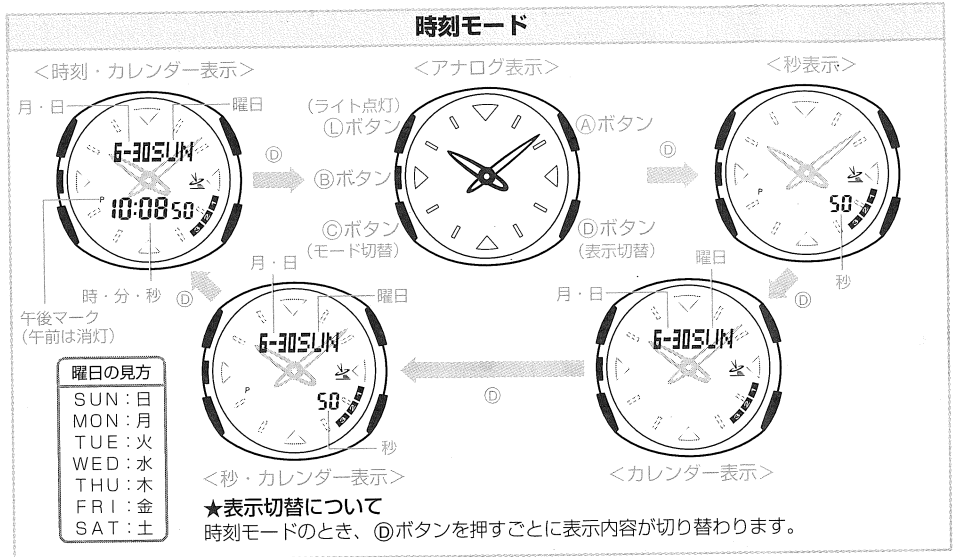
ご注意

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中断します。
- 針の自動修正中はライト点灯を行なわないでください。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

操作のしくみと表示の見方

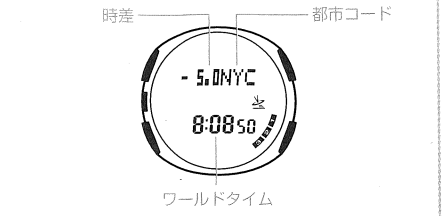
Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。
※アラームモード、データメモリーモード、ハンドセットモードのまま２～３分すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



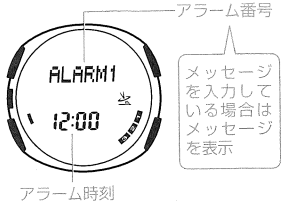
★表示切替について
時刻モードのとき、Ⓓボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

ワールドタイムモード



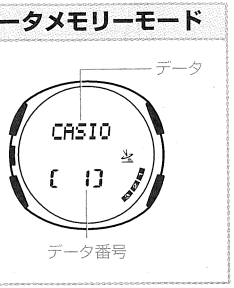
Ⓒ

アラームモード



Ⓒ

データメモリーモード



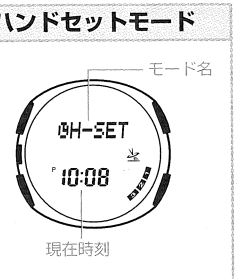
Ⓒ

ストップウオッチモード



Ⓒ

ハンドセットモード



Ⓒ

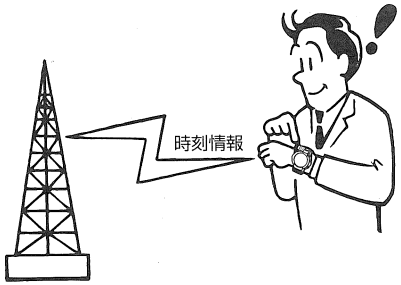
電波時計について

■ 電波時計とは

正確な時刻情報をのせた長波標準電波を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。

★標準時とは

時刻のもとになるもので、テレビの時報などに利用されています。
この標準時は「セシウムビーム型原子周波数標準器」等により制御されています。

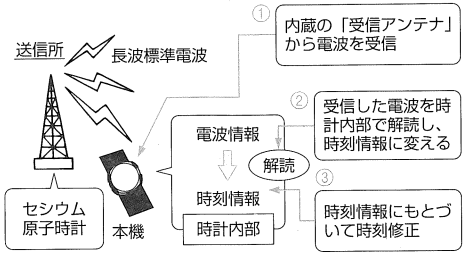


■ 標準電波

●日本の標準電波（JJY）は独立行政法人通信総合研究所（CRL）が運用しており、福島県田村郡の「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」および佐賀県と福岡県の境にある「はがね山標準電波送信所（60kHz）」から送信されています。

●アメリカの標準電波（WWVB）はNational Institute of Standards and Technology（NIST）が運用しており、コロラド州のFort Collinsから送信されています。

この標準電波は、ほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策等で一時送信が中断されることもあります。



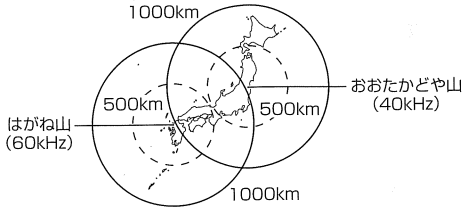
■ 電波の受信範囲の目安

本機は、ホームタイム都市を下記のように設定すると日本の標準電波（JJY）またはアメリカの標準電波（WWVB）を受信することができます。（ホームタイム都市の設定により受信する電波は異なります）

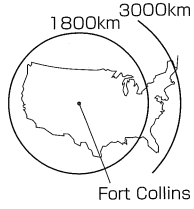
* ホームタイム都市の設定については27ページ参照。

ホームタイム都市	受信電波
TYO	「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」または「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波を受信します。
LAX、DEN、CHI、NYC	コロラド州のFort Collinsからの電波を受信します。

＜送信所の位置＞



●条件の良いときは、送信所からおよそ1,000km離れた場所でも受信することができます。
※ただし、約500kmを越えると電波が弱くなりますので、受信しにくくなることがあります。



●条件の良いときは、送信所からおよそ3,000km離れた場所でも受信することができます。

※受信範囲内であっても、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによって受信できないことがあります。

■ 使用場所について

電波は、以下のような場所では受信しにくくなりますので、このような場所を避けて受信を行なってください。

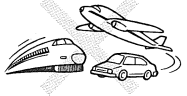
※電波受信については、ラジオやテレビと同じようにお考えください。



ビルの中およびその周辺
（ビルの谷間など）



高圧線、架線の近く



乗り物の中
（自動車、電車、飛行機など）



家庭電化製品、ＯＡ機器のそば
（テレビ、スピーカー、ＦＡＸ、パソコンなど）



電波障害の起きるところ
（工事現場、空港のそばなど）



金属板の上、山の裏側…など

受信がうまくいかないときは、上記のような場所から離れ、受信状況の良いところで再度受信してみてください。

■ 受信方法について

受信方法には、以下の２種類があります。

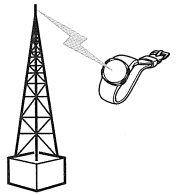
1 自動受信（午前２・４・６時に自動受信します）
2 手動受信（ボタンを押して手動受信します）

※工場出荷時には、自動受信を行なうようにセットされていますので、電波を受けるのに適した環境であれば、自動的に受信を行ない、正確な時刻を保ちます。

●受信前の準備

受信しやすくするために、本機を腕からはずし、右図のように時計上部（12時位置のアンテナ）が立つようにして電波送信所方向に向けます。

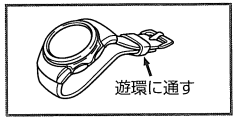
●時計上部が電波送信所方向（9 ページ参照）に対してまっすぐ向いていないと、受信しにくくなります。
●時計本体を横向きに置くと受信しにくくなります。
●受信中、時計を動かさないようにしてください。



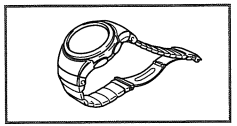
●受信感度を上げるために

腕からはずしたときは下図のようにできるだけ表示面を上にして置いてください。

＜樹脂バンドの場合＞



＜金属バンドの場合＞



●受信時間は？

受信時間はおよそ２～６分です。

※ただし、受信電波の設定で「FREQ. AT」を選んでいるときは、周波数を選択するため、最大12分かかる場合があります。

* 受信電波の設定については 13ページ参照。

●手動受信

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを約２秒間押し続けます



➡確認音が鳴り、受信を開始します。
受信中は受信マーク“”と受信インジケーターが変化します。

★受信を中止するときは

Ⓐ ボタンを押します

※受信中は Ⓐ ボタン以外の操作はできません。

★受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻を修正後、修正日時を表示します。

※受信マーク“”と受信インジケーターが点灯します。

★受信が失敗すると

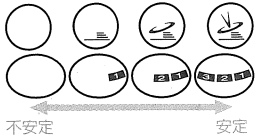
時刻修正は行なわれず、“ERROR!”を表示します。

※何も操作をしないと、１～２分後時刻モードに戻ります。

●受信マークと受信インジケーター

受信中は受信状態によって受信マークと受信インジケーターが変化します。
安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。





※受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

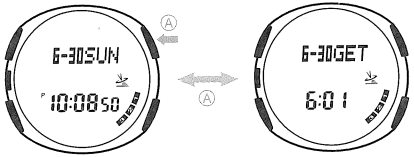
●受信マークと受信インジケーターは、受信状態の確認および使用場所を決める際の目安としてお使いください。
●天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

●受信日時の確認

時刻モードのとき

Ⓐ ボタンを押します

➡受信により最後に修正した月日と時分を表示します。
※時刻表示に戻すには、もう一度 Ⓐ ボタンを押します。
※何も操作をしないと、1～2分後時刻モードに戻ります。



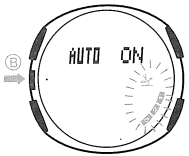
■自動受信の ON／OFF 設定

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを押します

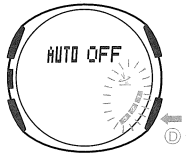
➡受信マーク“”と受信インジケーターが点滅します。



2. ON／OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに自動受信の ON／OFF が切り替わります。



3. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■受信電波を選ぶ

ホームタイム都市を TYO（東京）に設定しているときは、受信する電波を選ぶことができます。

* ホームタイム都市の設定については 27 ページ参照。

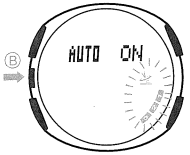
※工場出荷時には、「ホームタイム都市＝TYO（東京）、受信電波＝ FREQ.　AT」でセットされています。

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡受信マーク“”と受信インジケーターが点滅します。



2.「受信電波設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡受信電波の設定になります。



3. 受信する電波を選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、受信する電波を選びます。



● FREQ.　AT 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」と「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のうち、受信しやすい方を自動的に選びます。 ※前回受信に成功した方の電波を優先的に受信します。
● FREQ.　40 「おおたかどや山標準電波送信所（40kHz）」からの電波のみ受信します。
● FREQ.　60 「はがね山標準電波送信所（60kHz）」からの電波のみ受信します。

4. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 受信に関するご注意

●自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
●デジタル時刻とアナログ針部の時刻は合わせておいてください。
※この２つの時刻がずれていると、デジタル時刻が修正されてもアナログ針部の時刻が正しく表示されません。
●自動受信を行なう午前2時・4時・6時から12分程度は、ボタン操作を行なわないでください。
●受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。
ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯（昼・夜）などによってうまく受信できないことがあります。
●電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
●本機は日本およびアメリカで送信されている電波に合わせて設定されていますので、電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
●電波受信を行なわないときは、製品仕様に記載の精度範囲で動きます。
●極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
●受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
●針の自動修正中は自動受信を行ないません。
●本機のカレンダー機能は2039年までですので、2040年以降は受信してもエラーとなり、カレンダーは2039年12月31日のままとなります。

■ こんなときには

手動受信ができない

原因：時刻モード以外のときは、手動受信はできません。
ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAX以外のときは、手動受信はできません。

処置：手動受信は時刻モードで行なってください。
ホームタイム都市がTYO、NYC、CHI、DEN、LAXのとき、手動受信を行なうことができます。
27ページからの設定をご覧になり、ホームタイム都市を合わせてください。

「自動受信ON」に設定しているのに“”マークが消えている

原因：“”マークは受信が成功し、時刻修正を行なったときに点灯します。
一日に一度も受信に成功していない場合は、点灯しません（毎日午前３時に消えます）。
自動受信時に時刻モードまたはワールドタイムモード以外になっていた。

処置：電波の届く場所で使用しているかを確認して、受信を行なってください。
「受信成功」しやすい環境で使用してください。
自動受信を行なうときは、時刻モードまたはワールドタイムモードにしておいてください。
また、手動で時刻修正をすると、“”マークは消えます。

電波受信をしても時刻が合わない

原因：サマータイムがONになっているか、ホームタイム都市設定を間違えていませんか。

処置：１時間進んでいるとき（DSTマーク点灯）はサマータイムがONになっています。また、大きく違っているときはホームタイム都市を間違えています。
27ページからの設定をご覧になり、正しく合わせてください。

ワールドタイムの使い方

Ⓒ ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に24時間制表示となります。

■ご注意■

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

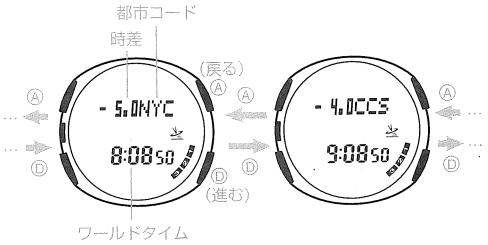
* セットについては27ページ参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐ ボタンを押すと戻ります。各都市の時刻が表示されます。
※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ または Ⓐ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。
※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、"GMT" 表示とホームタイム都市のときはサマータイムの設定はできません。



■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	-11		JRS	+2	エルサレム
HNL	-10	ホノルル	JED	+3	ジェッダ
ANC	-9	アンカレジ	THR	+3.5	テヘラン
LAX	-8	ロサンゼルス	DXB	+4	ドバイ
DEN	-7	デンバー	KBL	+4.5	カブール
CHI	-6	シカゴ	KHI	+5	カラチ
NYC	-5	ニューヨーク	DEL	+5.5	デリー
CCS	-4	カラカス	DAC	+6	ダッカ
RIO	-3	リオデジャネイロ	RGN	+6.5	ヤンゴン
---	-2		BKK	+7	バンコク
---	-1		HKG	+8	香港
GMT	+0	<グリニッジ標準時>	TYO	+9	東京
LON	+0	ロンドン	SEL	+9	ソウル
PAR	+1	パリ	ADL	+9.5	アデレード
BER	+1	ベルリン	SYD	+10	シドニー
ATH	+2	アテネ	NOU	+11	ヌーメア
CAI	+2	カイロ	WLG	+12	ウェリントン

※この表は2001年12月現在作成のものです。
※この表の時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

アラーム・時報の使い方 Ⓒボタンを押して、アラームモードにします。

■アラームの使い方

●アラームについて

アラームは、時・分とメッセージ（最大８文字）をセットでき、セットした時刻になるとアラーム報知を行ないます。

※アラーム報知は、電子音を鳴らす方法（電子音報知）と電子音を鳴らさずに表示でお知らせする方法（アラート報知）の２通りがあります
＊21ページ参照。

※メッセージを入力しているときは、アラーム報知と同時に、時刻モードで１分間メッセージを表示します。

●アラームの種類

本機には、５本のアラームがあり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。
（通常アラーム４本／スヌーズアラーム１本）

●通常アラーム（ALARM1～ALARM4）
セットした時刻になると10秒間アラーム報知を行ないます。

●スヌーズアラーム（SNOOZE）
セットした時刻になると10秒間アラーム報知を行ない、5分おきに7回繰り返します。なお、ボタンを押してアラーム報知を止めても、再び報知を行ないます。

●アラームのセット

1. アラームを選ぶ

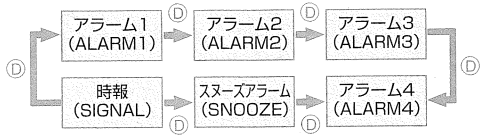
アラームモードのとき

Ⓓボタンを押します

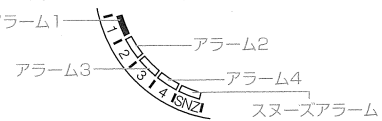
➡Ⓓボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。

※選んでいるアラームのインジケーターが点灯します。





<アラームインジケーターの見方>

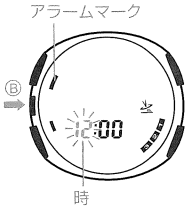


2. セット状態にする

Ⓑボタンを押します

➡「時」が点滅します。

※自動的にアラームがＯＮになります。



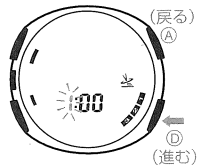
3. 「時」をセットする

ⒹまたはⒶボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。

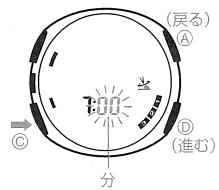
※「時」のセットのとき午前／午後(P)、または24時間制(24)にご注意ください。



4. 「分」をセットする

Ⓒボタンを押します

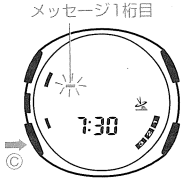
➡「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にⒹまたはⒶボタンでセットします。



5. 「メッセージ」のセットに切り替える

Ⓒボタンを押します

➡メッセージの１桁目が点滅します。



6. 「メッセージ」を入力する

ⒹまたはⒶボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。



入力できる文字について
●カタカナ（ア～ン　ァ～ォ　ッ　ャ～ョ　゛゜）
●英小文字（a～z）
●記号（＊－＿@゛／？＃！％.：’，＆＝÷×－＋）
●英大文字（A～Z）
●数字（0～9）
※カタカナはⒹまたはⒶボタンを押し続けるとア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

7. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所が右に１つ移動します。



Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓまたは Ⓐ ボタンを押して文字を入力する操作を繰り返してメッセージを入力します。

※メッセージは最大８文字まで入力できます。

8. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

●アラームの修正

1. Ⓓ ボタンを押して修正したいアラームを選びます

2. Ⓑ ボタンを押します

➡「時」が点滅します。

3. アラームを修正する

Ⓒボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、Ⓓまたは Ⓐ ボタンを押して正しい数字・文字を表示させます

※Ⓓ ボタンと Ⓐ ボタンを同時に押すと、“CLEAR！”表示後メッセージが消去され、アラーム時刻は午前12:00になります。

4. 修正が終わりましたら、 Ⓑ ボタンを押します

●アラーム報知の ON／OFF 設定

（報知方法を選ぶ）

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。



2. ON／OFF を切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとにアラーム報知の ON／OFF が切り替わります。





●アラーム OFF
アラーム報知は行ないません。

●アラーム ON（電子音報知）
10秒間電子音が鳴ります。

※電子音報音中は、アラームマークと該当のアラームインジケーターが点滅します。
※メッセージを入力しているときは、時刻モードで１分間メッセージを表示します。

●アラーム ON（アラート報知）
10秒間アラートマークと該当のアラームインジケーターが点滅します。

※電子音の報音は行ないません。
※メッセージを入力しているときは、時刻モードで１分間メッセージを表示します。

●モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ご注意

●電子音報音中にいずれかのボタンを押すと、音が止まります。（時刻モードでは、音を止めてもメッセージは１分間表示し続けます）

●メッセージ表示中にモード切り替え等で表示を切り替えるとメッセージ表示は中断します。

●スヌーズアラームのときは、５分おきに７回アラーム報知を繰り返します。なお、スヌーズアラーム機能中はスヌーズアラームのインジケーターが点滅します。

●「●アラーム報知のON／OFF設定」の手順でアラームマークまたはアラートマークを消すと、スヌーズアラーム機能が解除され、以後報知は行ないません。

●スヌーズアラームのインジケーター点滅中に以下の操作を行なうと、点滅が止まり、次回報知を中断します。
（・時刻モードでセット状態に入る。
・アラームモードでセット状態に入る。）

■時報の使い方

●時報について

毎正時（00分）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

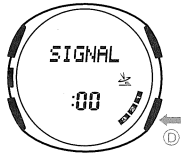
●時報のON／OFF設定

1. 時報表示を選ぶ

アラームモードのとき

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押して、時報表示（SIGNAL）を選びます。



2. ON／OFFを切り替える

Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓐ ボタンを押すごとに時報のON／OFFが切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。



データメモリー機能の使い方 Ⓒ ボタンを押して、データメモリーモードにします。

データメモリーモードでは、メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶できます。

※１件あたりのデータ内容により、記憶できる総件数が変わります。
（・１件あたり63文字のデータを入力した場合、５件まで記憶できます。
・１件あたり７文字のデータを入力した場合、40件まで記憶できます。）
※データメモリーモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。

■データを見る

1. 見たいページを選ぶ

データメモリーモードのとき

Ⓐ ボタンを押します

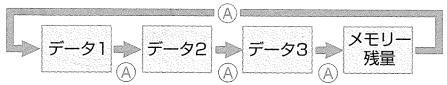
➡Ⓐ ボタンを押すごとにページが切り替わります。

※ 押し続けると早送りします。



※ データ入力をしたページとメモリー残量を表示します。なお、データを１件も入力していないときは、メモリー残量のみ表示します。

例）データを３件入力したとき



2. データを見る

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すと右から左へ文字が横に流れ、6文字ずつデータを表示します。

※ 押し続けると早送りします。

※ データの最後に“<”マークがつきます。

※ データが５文字以下のときは、Ⓓ ボタンを押しても文字は横に流れません。



■ データを入力する

1. メモリー残量を表示させる

データメモリーモードのとき

Ⓐ ボタンとⒹ ボタンを同時に押します



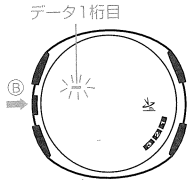
➡メモリー残量を表示します。

※“0%”と表示されるときは、すでにメモリーいっぱいのデータが記憶されています。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消しておいてください。

＊25ページ参照。

2. セット状態にする

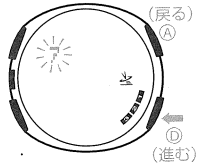
Ⓑ ボタンを押します



➡データの1桁目が点滅します。

3. 点滅箇所をセットする

Ⓓ またはⒶ ボタンを押します



➡Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

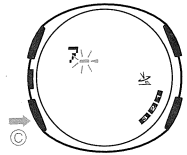
※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。

入力できる文字について
- ●カタカナ（ア～ン　ァ～ォ　ッ　ャ～ョ　゛゜）
- ●英小文字（a～z）
- ●記号（＊―_@¯／？＃！%.：’，＆＝÷×－＋）
- ●英大文字（A～Z）
- ●数字（0～9）

※カタカナはⒹまたはⒶボタンを押し続けるとア段の早送り（ア⇔カ⇔サ⇔タ…）になります。

4. 桁を移動させる

Ⓒ ボタンを押します



➡Ⓒ ボタンを押すと点滅箇所が右に1つ移動します。

Ⓒボタンを押して点滅箇所を移動させ、ⒹまたはⒶボタンを押して文字を入力する操作を繰り返してデータを入力します。

5. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡“SAVE！”表示後、点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 続けて他のデータを入力したいときは、1～5の操作を繰り返し行ないます。

※ データは入力した順に記憶していきます。

■ データの修正／消去

1. Ⓐ ボタンを押して修正／消去したいデータを選びます

2. Ⓑ ボタンを押します

➡データの1桁目が点滅します。

3. データを修正／消去する

- ● データ修正 ➡ Ⓒボタンを押して修正したい箇所に点滅を移動させ、ⒹまたはⒶボタンを押して正しい文字を表示させます。
- ● データ消去 ➡ Ⓓ ボタンとⒶ ボタンを同時に押します。“CLEAR！”表示後、データが消去されます。

※データ消去後、引き続き他のデータを入力することができます。

※点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

4. 修正／消去が終わりましたら、Ⓑボタンを押して点滅を止めます

※ データを消去すると、後ろのページが1ページずつ繰り上がります。

ストップウオッチの使い方　Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。



●通常計測

Ⓓ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　ストップ　リセット

積算計測…ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ
スタート　スプリット計測　スプリット解除　ストップ　リセット

●1・2着同時計測

Ⓓ → Ⓐ → Ⓓ → Ⓐ → Ⓐ
スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

●計測中にⒶボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります（"SPL"表示）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
●計測終了後Ⓐボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。

デジタル部とアナログ部の時刻を同時に修正するときは、デジタル部の時刻を先に修正してください。

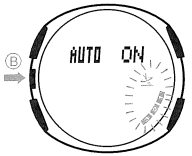
■セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき

Ⓑボタンを押します

➡受信マークと受信インジケーターが点滅します。



2.「ホームタイム都市設定」にする

Ⓒボタンを2回押します

➡「都市コード」が点滅します。



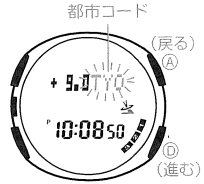
3. ホームタイム都市を選ぶ

ⒹまたはⒶボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓐボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

※Ⓓ・Ⓐボタンとも、押し続けると早送りします。

* 都市コード一覧については17ページ参照。



4. 「サマータイム切替」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの切り替えになります。

* サマータイムについては17ページ参照。



5. ON／OFFを切り替える

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

● OFF DST サマータイムはOFFになります（通常時間）。
● ON DST サマータイムはONになります（夏時間）。 ※DSTマークが点灯して、通常の時刻より1時間進みます。
● AUTO DST 自動的にサマータイムのON／OFFが切り替わります。 ※ホームタイム都市がTYOのときは日本のサマータイム情報に、NYC、CHI、DEN、LAXのときはアメリカのサマータイム情報に合わせます。 * アメリカのサマータイム期間＝4月の第1週目曜日のAM2:00～10月の最終日曜日のAM1:00

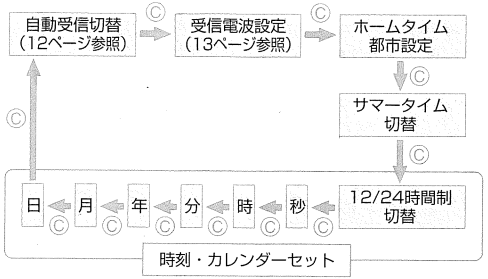
※ホームタイム都市がHKG、TYO、SEL、NYC、CHI、DEN、LAX、ANC、HNL以外のときは、「OFF DST」⇔「ON DST」で表示が切り替わります。

6. 「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。





b. Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓐ ボタンで点滅箇所をセットします。

★「12/24時間制切替」のときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”が切り替わります。



★「秒」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すと「00秒」からスタートします。

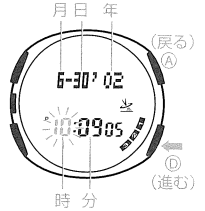
※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）



★「時」「分」「年」「月」「日」セットのときは…

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制（24）にご注意ください。

※「年」は2000～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

7. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

＜シンクロ機能＞

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部の針も自動修正されます。

※針の修正は、デジタル部の修正に合わせて時計回り（正転方向）に送られます。

※針の修正は、デジタル部の修正時刻によっては時間がかかることがあります。

■アナログ部（針）の修正

アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っていないときは、ハンドセットモードで合わせてください。

1. セット状態にする

ハンドセットモードのとき

Ⓑ ボタンを押します

➡「時・分」が点滅します。



2. アナログ部を合わせる

Ⓓ または Ⓐ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進み、Ⓐ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓐ ボタンとも、押し続けると早送りします。



★分針を合わせるときは…

アナログ部の分針をデジタル部の「分」丁度の位置に合わせます。

例）8分の場合は、8分丁度の位置に分針を合わせます。

＜針の自動早送り＞

●Ⓓボタンを押し続けて早送り中にⒶボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。（正転方向）

●Ⓐボタンを押し続けて早送り中にⒹボタンを押すと、ボタンを離しても針が進み続けます。（逆転方向）

●自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。

3. セットを終わる

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精　　度：電波受信による時刻修正が行なえない場合は、平均月差±15秒以内

基本機能：アナログ部
時・分（2針）
デジタル部
時・分・秒、
午前／午後(P)／24時間制(24)表示
月・日・曜日、
フルオートカレンダー(2000～2039年)

電波時計機能：自動受信（午前2・4・6時）、
手動受信、受信日時リコール付、
自動受信ON／OFF切替、
受信電波選択機能（JJYのみ対応）
受信電波＝

コールサイン：JJY 周波数：40kHz／60kHz ＊ホームタイム都市がTYOの場合
コールサイン：WWVB 周波数：60kHz ＊ホームタイム都市がLAX、DEN、CHI、NYCの場合

ワールドタイム機能：世界30都市（29タイムゾーン）の時刻を表示
サマータイム設定機能

アラーム機能：時刻アラーム
セット単位＝時・分
アラーム報知＝10秒間
通常アラーム＝4本
スヌーズアラーム＝1本
電子音報知／アラート報知
時報　毎正時に2回電子音で報知

データメモリー機能：メールアドレスやホームページアドレスなどのデータを記憶
・1件あたり63文字＝5件まで記憶
・1件あたり7文字＝40件まで記憶

ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2着同時計測

その他：自動復帰機能、
12/24時間制表示切替、
EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト、モニターアラーム

主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップCMOS-LSI

使用電池：CR-2016（電池別途販売）

電池寿命：約2年
（1日あたり電波受信を3回、ライト1.5秒間、アラーム報知10秒間使用した場合）

ご使用上の注意

防水性

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。

磁気

- 家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ／進みが生じたり、電波受信機能に影響することがあります。

■静電気

- 極度の静電気により誤った時刻を表示したり、電子部品が破損する場合があります。
- 静電気により一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがありますが、機能に影響はありません。

■薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

- 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
- 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
なお、大切なデータは備忘録やノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
  - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)